

令和7年度 学校だより 11月号

2025年11月13日



千葉市立高浜海浜小学校発行 No. 7

「こころ」と「からだ」を鍛え大きな実りを

校長 前田 知美

朝夕の冷え込みが厳しくなり、木々の葉が思い思いに染まり、秋の深まりを感じる季節となりました。日頃から、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

秋は気候がよく、落ち着いてじっくり活動できることから「読書の秋」「芸術の秋」と言われ、また、運動にも適した気候でもあり「スポーツの秋」と呼ばれることもあります。また、野菜や果物、魚など旬の食べ物がお店屋さんに並ぶこともあり「食欲の秋」とも呼ばれます。

月 日（ ）には、本校体育館にて芸術鑑賞会を行いました。内容は新日本フィルハーモニー交響楽団による、演奏会でした。会の後半では、4人の6年生が指揮を体験。「ベートーベン作曲：交響曲第5番“運命”」の一部分でしたが、交響楽団を前に指揮を振りました。一人一人の指揮の振り方の違いに合わせ、演奏者の方々が演奏してくださいました。鑑賞や体験することを通して、豊かな感性が育まれるきっかけになったと思います。

様々な行事の中で子供たちの「こころ」と「からだ」が鍛えられ、大きな実りがありますように教職員一同心を合わせ取り組んでまいります。ご家庭でも五感を使って季節を味わい、お子さんにあった秋を見つけてみてください。

《6年生が千葉市陸上大会に参加しました》

月 日（ ）に、千葉市小学校陸上大会が行われました。早朝、雨が降り肌寒い中、競技開始となりましたが、天候も回復し、子供たちは本格的な競技場にドキドキしながらも精一杯「自己ベストを出そう」と競技に臨んでいました。選手たちの背中を押したのは、学校から応援してくれていた仲間や保護者の皆様の応援が支えとなっていたからだと思います。体調を崩したり、かなり疲れたりしていた子供たちでしたが、次の日登校してきたときには、どの子も晴れやかな表情で「精一杯やれた」という気持ちが感じ取れました。ただ、中には実力が出せず、競技後、悔しい涙を流した子供もいました。前日の壮行会で話しましたが、実力やよい記録が出せなかった結果に対して、何か（天候・環境・状況・人等）のせいにしないこと。悔しい結果をどのように生かしていくかが大切で、さらに成長することができると思います。

これからの糧にしてほしいと思います。